1

勉学の状況

こんにちは。9 月中旬にケルンに到着しましたが、主なプロジェクトが始まるのは 10 月からなので授業はまだ受講していません。しかし First meeting や Welcome party など学生同士が集まるイベントがいくつかあり学科の人たちとコミュニケーションを取ることができました。KISD は学生の 40％が International であるため様々な国籍の学生がいます。そのためか大学側の留学生に対するケアがとても充実しているように思います。ヨーロッパやアジアからの学生が多いのですがやはり初めのうちは同じ地域出身の人同士で固まってしまうことが多いようです。英語力を言い訳にせず積極的に多くの人に話しかけていきたいと思います。授業の準備としては受講予定のドイツ語のクラス分けのテストを受けました。ケルンの人は英語を喋れる人が多く、お店の人も役所の人も英語で対応してくれることが多いのですがそれに甘んずることなくドイツ語でコミュニケーションを取れるようになりたいです。

2

生活の状況

9 月いっぱいまでの宿しか決まっていないという危機的状況でこちらに来てしまったため始めの 1 週間は家探しのことで頭がいっぱいでした。ケルンの家探しはとても難しく、家を貸したい人に対して借りたい人の数がとても多いです。50 件近くメールを送ったところで運よくシェアフラットを契約することができました。また家探し中の詐欺メールの数がとても多く私もお金を振り込む直前までいってしまったので詐欺には気をつけてください。家探しの難易度を除けばケルンは街が綺麗で治安も比較的良く、住みやすい都市であると思います。9 月の終盤には学科で行われる school trip に参加しオランダのアムステルダムに行って来ました。アムステルダムはメルヘンな街並みとは裏腹にライトドラッグや売春が合法化されており、もちろん関わってはいませんが文化の違いを強く感じました。全体としてはホテルのルームメイトと中心街を観光したり、学科の人達と知り合えたりととても楽しい旅でした。

ケルン大聖堂

アムステルダムにて

1

勉学の状況

今月から KISD の授業が本格的に始まりました。導入として 10 月中旬までは新入生全員を対象としたプロジェクト「Cologne Resources」と留学生対象の「Sketch Visual explanation」を受講していました。Cologne Resorces ではグループに分かれ、私達のグループはケルンの複数の街の通りを調査しそれぞれの特徴を比較し発表しました。初めて行く街で通りがかりの人など多くの人に話を聞いたり、さらにはそのまま自宅を見せてもらったり (!) と自分だけでは絶対にできない体験ができてよかったです。下旬からはメインの授業が始まりました。私は通期で初級ドイツ語の授業,「Sweets 2018」(長期プロジェクト),「SF movies」(セミナー) を受講し、12 月上旬に「The Future of Work」(短期プロジェクト) を受講する予定です。KISD の授業の取り方は少し複雑で長期プロジェクトをとると短期プロジェクトは 1 つまでしか取れない、などの決まりがあるので授業計画を立てる前に調べておくといいと思います。

2

生活の状況

こちらでの生活にも慣れ少し余裕も出て来たので今月はドイツ国内の多くの場所に足を運びました。ベートーヴェン生誕の地であるボン、ヨーロッパ最大の日本人街があるデュッセルドルフ、首都であるベルリンとどれも魅力的な街でした。ドイツはクラッシック音楽が栄えている国でもあり、ベルリンフィルやミュンヘンフィル、シュターツカペレ・ドレスデンなど有名なオーケストラが多数存在します。個人的にクラシック音楽が好きなのでケルン中央駅のすぐ近くにあるケルンフィルハーモニーでケルン放送交響楽団のコンサートに行って来ました。ホールが綺麗で日本に比べお客さんもフォーマルな服装をしている人が多く雰囲気が良くとても楽しめました。他の都市のオーケストラもぜひ聴きに来たいと思っています。またこちらでも友達が増え一緒に出かけたり、家に行ったり来てもらったりして頻繁に夜ご飯パーティーをしています。下の写真はドイツで 2 回目の手打ちうどんを作った時の様子です。

Kalk にて (Cologne Resorses)

手打ちうどん

1

勉学の状況

今月は学期も中盤になり、授業の内容も濃いものになってきました。メインの授業として受講している Sweets 2018 では週 2 回授業があり毎回個人がやってきたことを発表します。各々がアイデアスケッチを 10 枚持ち寄って壁に貼り気に入ったものに投票したり、他の人とアイデアを交換して発展させたりするのですが、授業の進め方やプロセスに千葉大のプロダクトの授業と非常に似たものを感じます。加えて学生も議論に積極的で充実した時間を過ごせています。また下旬には短期プロジェクトの The Future of Work にも同時に参加しました。この授業では KISD だけでなく他の学部の人とも同じグループになって新しい提案を考えていきます。当然ながら考え方が違ったりと難しい点もあり、もう少し積極的に発言できたらよかったなど反省点はたくさんあるのですが非常にためになりました。千葉大でも総合大学という点を生かしたこのような授業がもっと増えたら良いのではないかと思いました。

2

生活の状況

紅葉していた葉も舞い散り始めすっかり冬らしくなってきました。こちらの紅葉はイチョウのような綺麗な黄色に染まるものが多く日本とはまた違った風情です。11 月のイベントといえばカーニバルがあります。11 月 11 日は日本では専らポッキーの日ですがケルンでは 2 月まで続くカーニバル期間の開始日です。普段は比較的秩序正しいケルンの街並みですが、この日は街の人がこぞって仮装をして広場等に集まり盛り上がります。メイン会場の Heumarkt に行ったのですが身動きができないほどの人混みで熱気に圧倒されました。しかし翌週にはゴミが散乱した街もメトロ内もすっかり片付いていたのでそういう所がドイツらしいですね。その他今月はミュンヘンやベルギーにも出かけ観光を楽しみました。ミュンヘンフィルでは学生だと S 席でも 12 ユーロ近くで聴けるので非常におすすめです。11 月は生活に慣れたためか 1 ヶ月が経つのがとても早くて少し焦っています。1 日 1 日を大切に過ごしていきたいです。

Sweets 2018

Heumarkt にて 11.11

1

勉学の状況

今月からは新しい講座はなく、通期で受講している授業のみになります。メインのスイーツの授業ではモックアップを作り検討する段階に入ってきました。私は触覚に訴えるパッケージをコンセプトに進めているのですが、実際に触れた時に異なる感触を持つサーフェイスを作るため真空圧縮機を使ったりと工房の施設を利用することが多くなりました。KISD には 3D プリンターや真空圧縮機だけでなく金属加工や木材加工、セラミック製造などのための機械が揃っています。分野ごとに工房が分かれておりそれぞれの部屋にインストラクターが常時着いていて利用時に使用方法を教えてくれます。そのため初心者の人でも気軽に工房を利用することができる点が良いと感じました。この授業では作品を 1 月終わりに展示会に出展するため学期末より早めに完成させる必要があります。最終的に良いものになるように頑張っていきたいと思います。

2

生活の状況

ドイツの 12 月と言えばクリスマスマーケット、各地で (ケルン内だけでも 7 ヶ所) マーケットが開催されます。マーケットはイルミネーションやオーナメントに彩られキラキラしていて本当に心が踊ります。小屋の形をした屋台で売られている食べ物やクリスマスの飾りなど出ているものは基本的に同じなのですがマーケットによって少しずつ雰囲気が違うので色々な場所を巡るのもおすすめです。クリスマス後の冬休みはフィンランドとベルリンへ旅行に出かけました。ヘルシンキでは同じく留学中の同期の友人達で集まったり、サウナに入って極寒の海へ飛び込んだりと思い出深い体験がたくさんできました。その後ベルリンへと移動し有名なブランデンブルク門のカウントダウンイベントに参加しました。イベントは非常な盛り上がりで新年の訪れを強く感じることができたのですが、ホテルの窓の外で夜通し花火と爆竹が鳴り続ける様子はまさに異世界でした。

真空成形で作ってみた手形

クリスマスマーケット

Köln International School of Design

1

勉学の状況

今月は Sweets 2018 の最終提出があり、今までで一番忙しい 1 ヶ月となりました。この授業ではセメスターの終わりに iSM pro sweets という大きなイベントで自分たちの成果物を展示します。配布するカタログの納期の関係で最終モック作り、写真撮影や説明文の制作などを 1 月中旬までに終わらせなくてはなりません。1 月に入ってからも真空成形を利用して数種類のサーフェイスを試作したりグラフィックを調整したりとトライ＆エラーを繰り返していたので結局ぎりぎりまで作業を続けていました。データの提出後もこの授業では広告のポスター作り、会場設営、当日の運営まで行うのでずっと取り組んでいたように思います。展示会期中は多くの方に自分達の作品を見て頂き貴重な経験ができました。週 2 回の授業で大変な面もありますが、長い時間をかけて作品作りの初めから最後まで行うこともあり得られるものが多い授業でした。何よりずっと顔を合わせていたクラスの子達と仲良くなれたのが嬉しかったです。

2

生活の状況

寒さに慣れたのでしょうか、こちらの 1 月は 12 月よりも暖かく感じます。1 月中はデンマークに足を運んだりもしたのですがほとんどの時間を Sweets の授業に費やしていたので、せっかくですので iSM pro sweets の様子について書きたいと思います。このイベントはビジネス向けのお菓子の展示会で幕張メッセのような大きいホールで行われます。基本的に一般の人は入場できず、あちらこちらで商談している様子を見かけました。そして会場の中は今まで見たことがない大量のお菓子で埋まっていました。国ごとにブースが分かれているのですが、紹介しているお菓子の種類も見事に違って興味深かったです。どうやらアジア、中東、中南米の商品は装飾過多になる傾向があるようですね。あくまで個人の意見ですが。そして残念なことに日本企業のブースは 1 つも見かけませんでした。不思議です。ドイツでの生活も来月で終わりです。すでにプレッシャーを感じつつありますが頑張りたいと思います。

最終モックアップ , Sweets 2018

KISD ブースの展示の様子

London, Borough Market にて

月間報告月 2号

01 勉学の状況

最終プレゼンの様子

こんにちは。留学後半に入り 2 つ目の大学に移った節目ですので新しいフォーマットで月間報告書を書いていきたいと思います。2 月の前半には KISD でセメスターを締めくくる最終プレゼンがありました。多くのプロジェクトのプレゼンがまとめて行われ、自由に気になるプレゼンを見に行くことができます。私は Sweets2018 のプレゼンに参加したのですが、毎年聞いている人にお菓子を配る目玉イベントでもあるためお祭りのような大変な賑わいでした。KISD での全てのコースを終えあっという間だったな、と感慨深く思います。言葉の面など大変なこともありましたが達成感を感じることができました。

そして現在、イタリアの Politecnico di Milano 大学に移り授業が始まったばかりです。こちらの授業は千葉大学のようにほとんどが通期で開催され、曜日ごとに授業を組んでいきます。私は Design& Engineering のコースにいるのですが他のコースの授業も取ることが可能で、Communication Design のコースの授業も合わせてとっていこうと考えています。KISD の時と比べてグループワークが多くなっていきそうなので積極的に頑張っていきたいです。また個人的にイタリア語に興味があり千葉大学でも授業をずっと取っていたのでこちらでも取り組んでいこうかと考えています。

2 月はケルン最大のイベント、カーニバルが行われる月でおそらく 1 年の中で最も街が賑やかになる時期です。その中でも盛り上がりがクライマックスを見せる Rosenmontag(薔薇の月曜日) と呼ばれる日にカーニバルに参加してきました。明確な決まりはありませんが仮装をするのがドレスコードです。街を歩きパレードを見て飛んでくるお菓子をキャッチして…と別れが近い友達とのいい思い出になりました。KISD ではたくさんの友達に恵まれ仲良くなれたと思います。半年という期間では、お互いの素性がわかり本音で話せるようになってきた所にお別れがきてしまいなかなか寂しくもあるのですが離れた後も留学でできた友達は大切にしていきたいです。

その後イギリスや国内を訪れた後イタリアに移動しました。ミラノでの家探しはケルンよりも簡単です。私は大家さんと 2 人で暮らしています。利便性や街の整備具合を考えるとケルンの方が暮らしやすく思われますが、家の近くにある大型スーパーではケルンに比べてチーズ、そして魚介類の種類が豊富でお魚が食べれる！と喜んでおります。ただ物価は高いです。もう 3 月になりますがここの所毎日雪が降っています。しかし来週からは気温がぐんと上がるようなので春はもうすぐそこですね。

02 生活の状況

Rosenmontag

Iceland にて

月間報告月号 3

01 勉学の状況

Product Developing Studio 2

授業が始まり 1ヶ月以上がたちこちらのスタイルにも慣れてきました。私はプロダクトデザインの Product Developnig Studio 2、世の中のトレンドを考察する User & Innovation、歴代のデザインの流れに関する Design Fundamental に加えてイタリア語学の授業を取っています。受講する授業は事前に提出する希望調査によって決まるのですが、想像していた内容と違うものがあったので担当者の方に事情を伝えて変更してもらいました。授業は全てグループワークです。KISD では個人作業が多かったこともあり新鮮です。こちらの学生は気さくな人が多く、グループ仲も良いため前向きな気持ちで取り組むことができています。

メインとなるプロダクトの授業では電動チーズ削り機のリデザインをしています。千葉大での授業のデザインも論理的だとは思いますが、Polimi ではそれ以上に論理的、技術的な点や実現可能性を重視してデザインを行います。生徒たちも当たり前のように詳しい市場調査、各部品の分解や分析、素材に他する考察を行い、そこから洗い出した点を元にデザインしていくといった確たるプロセスが確立されていることを感じました。初めて行う作業も多く学ぶことがたくさんあります。

02 生活の状況

暖かい日が増え近くの広場でも花が咲き始めて一気に春らしくなりました。こちらで 1ヶ月過ごしてみてケルンの違い、ミラノの文化をたくさん発見することができました。まず交通に関して、ケルンでは歩行者最優先で車はすぐ止まってくれましたがミラノではほとんど止まってくれません。ですので道路を渡るためには強い意思が必要です。またこちらではシェアの移動車両が盛んで街のあちらこちらでシェアバイクやシェアカーを見かけます。食べ物に関してはスーパーで購入する食材がとても新鮮で美食の国と言われる所以がわかる気がします。特にトマトは昔、畑で獲ったトマトをそのまま食べた記憶が甦るような味です。ただケルンや日本に比べてお惣菜や冷凍食品などの加工済み食品が驚くほど高いので良くも悪くも料理に手を抜けない状況です。

今月は授業の始まりの月でもあったので出会いも多い月でした。新しくできた友人とトリノに行ったり、誕生日パーティに行ったりと楽しく過ごすことができました。(イタリア式の誕生会は本人がみんなに料理を振る舞うのです。)また、運良く 2ヶ月先まで予約でいっぱいのダヴィンチの最後の晩餐を鑑賞したり、イースターにはアイスランドに行って大自然に触れたりと貴重な体験ができました。

“最後の晩餐”, Santa Maria delle Grazie にて

オルチャ渓谷

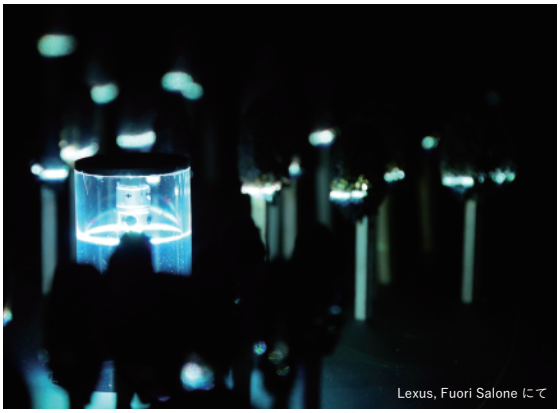
月間報告月 4号

01 勉学の状況

Design Studio 2

日本でいうゴールデンウィークのような大型連休を迎えた後、Design Studio の授業では中間発表がありました。この時点のプレゼンテーションではすでにリデザインした製品のコンセプト、デザイン詳細、製造方法、中の機構等を 3D モデルや動画を使って一通り説明することが求められます。中間から最終までの期間はさらに詳細をブラッシュアップしていくようです。今月は今までにも増して自分の知識や力不足を感じる月となりました。主な点としては今受講しているコースが Design & Engineering ということもあり多くの生徒が常識、教養としてある程度の素材や製造方法に対する理解を持ち（ かつそれを実践に生かしている）、3D モデリングを使いこなしているということです。千葉大学のデザインコースではそれらはどちらかというと +α的な要素として捉えられる傾向があると思うのですが、Polimi ではエンジニアとデザイナー関係なく一定の理解はあってしかるべきだという理念を感じます。私もその考え方に強く賛同します。自分の中の当たり前の基準が低かったことに気づいて正直焦っていますが、自分のできることを探して進んでいきたいと思います。

02 生活の状況

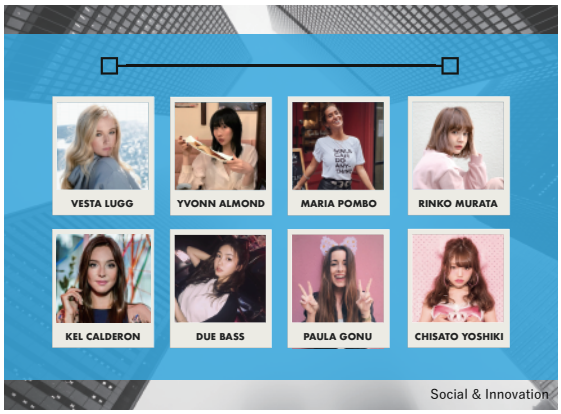

Lexus, Fuori Salone にて

4 月はデザインの祭典、ミラノサローネがミラノで行われました。このデザインウィーク中はほとんどの授業が休講になるためじっくりと時間をかけて周ることができました。ミラノサローネは fiera 会場で行われる Salone del Mobile(国際家具見本市 ）と街中で行われる Fuori Salone に分けられます。PHO-fiera 会場は世界 3 位の面積を持つ巨大なホール（の集合体）でそこに 2000 社以上の企業がブースを設けます。1 日ではとても見て回れません。普段は目にできないような高級家具からユニークなデザインのものまで、こんなにも多くの製品が市場には出回っているのかと思わされました。Fuori Salone は家具に限らずインスタレーションなどアートよりの作品もあり、まさしくデザインウィークという様子です。こちらでは Panasonic や Sony など日本の企業の出展も多く見かけました。ミラノサローネを通して思ったのは日本のデザインというのは自分が思っていた以上に世界で注目されており、評価されているということです。日常生活の中でも日本の製品や企業が多く知られているのを見ると改めて自国のデザインについて考えるきっかけとなります。その他、今月はローマ、フィレンツェ、ピエンツァを訪れました。特にピエンツァから見た世界遺産にもなっているオルチャ渓谷の大自然は忘れられません。

フィレンツェにてベッキオ橋を眺める

月間報告月 5号

01 勉学の状況



Social & Innovation

今月はプレゼンのある授業が多く、Social & Innovation の第一プレゼンと最終プレゼン、Fundamental の最終プレゼンがありました。Social & Innovation の第一プロジェクトはミラノサローネで行ったリサーチを元に未来の社会や生活を予想、提案するという内容でした。具体的に指定されたトピックはなく、内容や発表形式も自分たちで決めて良いという自由度の高い課題だったので何をすればいいのかグループのメンバーと戸惑いましたが、今となってはとっかりのない状態から新しい未来の展望を探っていくという作業こそが社会に Innovation を与えるスキルの 1 つであり、先生が私たちに教えたかったことなのだろうなと思います。Fundamental の授業では各グループが歴史上のデザイン運動の中から 1 つを取り上げてその中で論題を設定してレポートを作成し発表しました。私達のグループのトピックはモダニズムで”モダニズムから生まれたアクセシビリティのコンセプトを持つ製品には今日でもモダニズムの頃のデザインが使われているか” という論題でレポートを作成していきました。英語でこのような内容を話し合うのはなかなか大変でしたがチームメイト達の協力があり最後までやり遂げることができました。

4 月末から 5 月の頭まで行ってピエンツァ・フィレンツェ旅行の後はプレゼン続きだったこともあって週末は頻繁にチームメイト達と集まって作業をしていました。土日は大学が空いていないのでチームメイトの家に行ったり、ブレラ地区の Carrefour に併設されている自習ルームで集まっていました。イタリアの食べ物としてジェラートが有名ですが、集まりの後ミラノ市内でジェラートフェスティバルが開催されていたので参加してきました。有名店やパティシエが考案した珍しい食材の組み合わせのジェラートなど普段は食べないようなジェラートをたくさん試すことができて楽しかったです。

ミラノの街を歩いているとジェラテリアがたくさんあり、路上でジェラートを食べている人をたくさん見かけます。特に最近は気温が上がって暑くなってきたので一息ついてクールダウンしようという時についつい買ってしまいます。どこで買っても外れなく美味しいのが嬉しいです。ジェラートに限らず、ブラータチーズやアンチョビなど日本では食べる機会の少なかった食材を積極的に取り入れているので料理をするのが楽しい毎日です。

02 生活の状況

ジェラートフェスティバルにて

カプリ島

月間報告月 6号

01 勉学の状況

Design Studio 2

授業のプレゼンとテストは 6 月で一通り終わるので大学に頻繁に通うのも最後の月です。Studio Work の授業もついに最終プレゼンを迎えました。6 月に入ってからは 3D モデルの微調整とレンダリングを何度も繰り返して、完成に近づけていきました。レンダリングは 1 日もあれば終わるだろうとたかをくくっていたのですが全くそんなことはなく、複数台のパソコンで Keyshot を稼働させながら長い時間をかけました。今まで自分がやってきた 3D モデルよりも細部までモデリングがしてあってデータ量が多いからだと改めて気づかされました。Solid Works 初心者で思うようにモデリングができずチームメイトにはたくさん迷惑をかけましたが無事最終プレゼンを終えることができてよかったです。また Social & Innovation のテストが下旬にありました。1 年間通して初めて筆記のテストがある授業だったので少し緊張しましたがやれることはやったと思います。まだ成績が出ていないので少し不安ですが…。ともあれ全ての授業が終了してほっとしています。ポリミでは前半の KISD に比べ授業数は少ないもののグループ作業が多かったためより忙しかったように思います。全体のレベルが高い環境で半年学ぶことができ多くの気づきを得ることができました。

02 生活の状況

月の初めに家族がミラノを訪れたので観光としてドゥオーモに初めて登ってきました。ドゥオーモ前の広場や脇のショッピング通りはよく訪れることがあったのですがなかなか登ろうとはならなかったので良い機会でした。前半のケルンでは大聖堂、ミラノではドゥオーモとアイコニックな建築のある都市に続けて滞在していますが、ケルン大聖堂の規模感や装飾の細かさに魅了されてしまい、ケルン大聖堂に比べたら…と正直ドゥオーモを軽視していました。が！登ってみるとこちらはこちらで感じ入るものがあります。ゴシック様式の細工が施された柱がレイヤー状に重なって見える様子は壮観です。

また、下旬には留学組の仲間と合流して南イタリアを巡ってきました。カプリ島やシチリア島などのリゾート地となっている場所で美しい海と美味しい料理を満喫しリフレッシュすることができました。旅の途中では道を聞いたりとイタリア語を使う機会が多く、今まで勉強してきてよかったなあという気持ちと案外伝わるものだなあという気持ちで帰国後もイタリア語の勉強を続けていこうか…などと思いました。

いよいよ来月は帰国なので少しずつ身支度を始めています。今のところ日本に帰るのが待ち遠しい！という気持ちでいっぱいです。

Duomo